

学 位 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

1. 申請者氏名	山本 訓子
2. 審査委員	主 査：連大教授（兵庫教育大学） 中間 玲子 副主査：連大教授（岡山大学） 寺澤 孝文 委 員：連大教授（岡山大学） 伊藤 武彦 委 員：連大教授（兵庫教育大学） 西岡 伸紀 委 員：連大教授（鳴門教育大学） 川上 綾子 委 員：元連大教授（佛教大学） 松村 京子
3. 論文題目	宮城県の幼稚園児を対象とした実行機能及びセルフレギュレーション向上のための介入研究
4. 審査結果の要旨	学校教育実践学専攻学校教育方法連合講座 山本訓子 から申請のあった学位論文について、兵庫教育大学学位規則第16条に基づき、下記のとおり審査を行った。 論文審査日時：2022年8月12日（金） 11時10分～11時40分 形式：Zoomによるオンライン形式 <u>1. 論文の構成と概要</u> （1）論文の構成 序 章 第Ⅰ章 実行機能とセルフレギュレーションの男女差と教室行動との関連（研究1） 第Ⅱ章 東日本大震災後の幼稚園児への実行機能トレーニングの介入効果（研究2） 終 章 （2）論文の概要 序章では研究の背景と目的が示された。本研究は、小1プロブレムに対して、セルフレギュレーションに注目した介入の効果が確認されていることをふまえ、乳児期に東日本大震災を経験した幼児を対象に、実行機能及びセルフレギュレーションと問題行動との関連を調べることを、そして、これらの能力を向上させるための介入プログラムを実施し、その効果を明らかにすることを目的とする。 第Ⅰ章では、教室での問題行動と関連する可能性のある実行機能とセルフレギュレーションの発達の男女差の検討、および、実行機能及びセルフレギュレーションの程度と

教師の評価する社会性の問題、注意の問題、攻撃的行動との関連が、宮城県の幼稚園児を対象として検討された。その結果、教師による問題行動評価では、男児が女児よりも有意に高いが、教室での行動観察の結果や実行機能・セルフレギュレーション課題（個別測定課題）についての男女差は有意でないこと、セルフレギュレーション課題は教師による問題行動評価と有意な負の相関関係があることが明らかにされた。

第Ⅱ章では、実行機能及びセルフレギュレーションの向上を目的としたSocial Thinking & Academic Readiness Training (START)プログラム Academic Readiness (AR)レッスンを宮城県の幼稚園で実施し、その効果が検証された。その結果、プログラムによる介入が、抑制のコントロールとセルフレギュレーション課題（以上は個別測定課題）の向上、内在化及び外在化問題行動（教師による評価）の改善に対して有意な正の寄与を示すことが明らかにされた。

終章では、第Ⅰ・Ⅱ章の結果をふまえ、就学前のSTARTプログラムにより、幼稚園から小学校への移行がスムーズになり、小1プロブレムも大きく改善されると予想されること、それは乳児期に大規模自然災害を経験した子どもの問題に対しても介入効果が期待されることが論じられた。また、本研究の課題と今後の展望が述べられた。

2. 審査の経過

審査においては、主に、以下の2点について討議された。

(1) 研究の独自性と発展性について

本研究は、実行機能やセルフレギュレーションの発達について、課題を通しての個別測定や園児の行動観察も交えた多面的な観点からデータを採取している点、また、実際に介入プログラムを行い、その効果検証を行っている点など、より、発達の実態に迫るような手続きを踏んで展開されていることが高く評価された。

本研究の成果からは、今後、介入効果を長期的に追跡する研究への発展や、より発達の進んだ年齢層に対する介入の効果検証研究が展開することが期待される。また、大規模自然災害後に生じる生活環境における変化もふまえた上で、大規模自然災害を経験した子どもの発達過程についての論考が進むことも期待される。

(2) 学校教育の実践への貢献について

幼児期に実行機能やセルフレギュレーション能力を発達させることは、その後の発達過程にも広く長く影響を及ぼす重要なものであることが知られている。本研究は、その重要性を幼児の実態と共に論じている点、教師は女児の問題行動に気づきにくい女児においても注意すべき点があることを示している点、介入プログラムの効果検証を行っている点など、全体を通して、幼児教育の実践に対して非常に貢献度の高い研究であるとされた。本研究の成果をふまえ、今後、このような介入プログラムを一層広げていくような実践活動の展開についても期待される。

3. 審査結果

以上により、本審査委員会は山本訓子の提出した学位論文が博士（学校教育学）の学位を授与するにふさわしい内容であると判断し、全員一致で合格と判定した。